

平成 28 年度 アーツカウンシル東京 事業ラインアップ

「芸術文化支援事業」

東京の芸術文化の魅力を世界に発信する創造活動を支援するため、東京の芸術文化の創造と発信、芸術創造環境の向上に資する活動を行う団体に対する助成・支援を実施します。

●助成

東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体等に対する助成を実施します。また、対象事業の評価等をふまえ、現場ニーズに応じた効果的な助成システムを整えていきます。

事業名	概要
東京芸術文化創造発信助成 (単年助成(2期制)、長期助成)	東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。 対象分野は演劇、音楽、舞踊、伝統芸能といったパフォーミング・アーツ、美術・映像といったビジュアル・アーツ、さらには既存の枠にとらわれない新しい創造活動など、芸術表現活動全般です。
東京地域芸術文化助成	多彩な文化的特徴を持ったそれぞれの地域における文化拠点としての場の魅力を向上させることで、東京の芸術文化を広く国内外に発信するとともに、観光振興にも繋がる優れた芸術文化活動を支援するため、東京を拠点とするNPOや実行委員会、芸術団体、保存会、継承団体等に対して活動経費の一部を助成します。
芸術文化による社会支援助成(2期制)	東京を拠点とする芸術団体やNPO、福祉団体等が実施する、障害者や高齢者、子供、青少年、外国人等の創造活動や体験機会の拡充と、その環境整備に資する活動を支援します。また、芸術文化を通して教育や福祉、医療、コミュニティ形成等、社会や都市の課題に向き合う活動を支援します。
文化プログラム助成(仮称) 【新規事業】	東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催気運を高め、東京の文化プログラムを多くの人々に知ってもらう活動を支援します。東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえた話題性・祝祭性のある事業の支援を通し、民間企業など様々なセクターとの連携を積極的に推進していきます。

●活動支援

アニメや映像、テクノロジーアートなどの創造活動を支援します。主なプログラムとして、アジア各国の若い映画人を支援し、東京の創造環境の向上を目指します。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの展開も視野に入れ、東京の多彩な文化的特色をもった地域の活動を支援することで、東京の都市としての多様性や魅力の向上につなげます。

事業名	実施場所	開催時期(予定)	概要
クリエイティブ分野支援事業			テクノロジーやアートを融合し、新たな表現を追求するメディアアート、アニメや映像等のクリエイティブ分野の活動を支援します。
タレント・トーキョー	有楽町	11月	映画分野における人材育成事業として、「ベルリン国際映画祭」と提携して実施しています。映画監督やプロデューサーを目指すアジアからの参加者に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供します。
芸術文化拠点形成支援			東京の多彩な文化的特色をもった地域に着目し、それぞれの地域の文化的拠点の活動を支援することによって、芸術文化による都市の魅力の向上や機能強化を図ります。
東京芸術祭(舞台芸術部門) 【新規事業】	池袋エリア	秋	東京の多様で奥深い芸術文化を顕現した都市型総合芸術祭を構築していきます。
上野「文化の杜」新構想	上野エリア	通年	日本有数の芸術文化機関の連携、芸術文化資産の発信などを通し、東京の芸術文化拠点としての上野の魅力の、国内外への発信力を強化します。東京都、文化庁、東京藝術大学、地元団体などが連携し、情報発信環境の整備、オリンピック・パラリンピックに向けたシンボリックな事業、話題づくりに繋がるプログラムなどを積極的に実施していきます。

「芸術文化創造・発信事業」

芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施している事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、伝統文化・芸能、演劇、音楽、美術・映像等の幅広い分野におけるフェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

●フェスティバルや参加・体験型プログラムの開催

伝統文化・芸能、演劇、舞踊、音楽、美術・映像等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や、子供・青少年、外国人向けの参加体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充し、継承していきます。

事業（名称）	実施場所	開催時期（予定）	概要	
日本橋伝統文化フェスティバル（仮称）【新規事業】	日本橋エリア	10月7日(金)～9日(日)	江戸の文化の発信地であり、現代においても歴史的な雰囲気を残す日本橋で、伝統文化・芸能の魅力を発信し、馴染みのない人々も気軽に親しめるフェスティバルを開催します。伝統芸能の実演家によるパフォーマンスや様々な伝統文化を体験できるワークショップなど多彩なプログラムを実施します。	
伝統文化フェスティバル（仮称）【新規事業】	八王子エリア	11月26日(土)・27日(日)	八王子市をはじめ、多摩地域の文化資源を活用して伝統文化・芸能の魅力を発信し、馴染みのない人々も気軽に親しめるフェスティバルを開催します。邦楽の街なか演奏会や野外ステージ・神社を舞台にした公演など、多彩なプログラムを実施します。	
NIPPON文化発見EXPO(仮称)(連携事業)【新規事業】	東京国際フォーラム	平成29年1月	伝統から現代まで多彩な日本文化の魅力を発信する事業と連携して、誰もが気軽に楽しめる伝統芸能公演を実施します。	
伝統文化・芸能体験プログラム	外国人向け	東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター ほか	通年	外国人旅行者等が、日本の本格的な伝統文化・芸能について、短時間で気軽に体験できるプログラムや、より深く理解できるように体験と鑑賞を組み合わせたプログラムを都内各所で実施します。
	子供向け	都内学校	通年	子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い理解を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校教育と連携した取組として実施します。
伝統芸能普及公演（仮称）	Bunkamuraオーチャードホール	平成29年2月16日(木)	日本の伝統文化・芸能の魅力を広く発信し、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない層に対して、本格的な伝統芸能をわかりやすく見せる公演を実施します。	
大江戸寄席と花街のおどり その六	国立劇場	9月19日(月・祝)	江戸の町人文化の隆盛の中で花開いた落語と、花柳界に伝わる芸者衆のおどりと演奏を楽しめる伝統芸能のエンターテイメント公演を実施します。	
東京大茶会 2016	江戸東京たてもの園	9月24日(土)・25日(日)	都内の庭園と野外博物館において、様々な茶道の流派が一堂に会する大規模な茶会を催し、お茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を国内外へ紹介します。本格的な茶席をはじめ、秋空の下で楽しむ野点や初心者向けの茶道教室など、茶道に馴染みのない方や海外の方などに「お茶の文化」に親しみ、気軽に楽しんでいただく茶会です。	
	浜離宮恩賜庭園	10月15日(土)・16日(日)		
キッズ伝統芸能体験	梅若能楽学院会館、国立劇場 ほか	通年	日本人が大切にしてきた伝統芸能を知り、その心を継承するため、能楽、日本舞踊、三曲、長唄の一流の実演家から、子供たちが数か月にわたり直接指導を受け、最後にその成果を舞台で発表します。中・高校生のみを対象としたクラスや夏休み中に短期間で稽古から発表会まで行う地域密着型のプログラムも展開します。	
神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2016	神楽坂エリア	11月12日(土)・13日(日)	伝統と現代が融合する神楽坂エリアの毘沙門天善國寺や神楽坂通り、石畳の路地などを舞台に、数々の粋でスタイリッシュな伝統芸能ライブを開催します。また、芸者衆とのお座敷遊び体験、スタンプラリーなど、外国の方や若い世代の方も、誰もが気軽に楽しく日本の伝統文化・芸能、そして“まち”と出逢える2日間です。	
第17回 多摩川流域郷土芸能フェスティバル	狛江エコルマホール	12月4日(日)	多摩川流域の地域文化の交流を通して、郷土芸能の活性化・地域文化の振興を図るため、多摩川流域で育まれた郷土芸能を9団体が披露する公演を実施します。	
アンサンブルズ東京	東京駅前丸の内エリア	9月	音楽家・大友良英のディレクションのもと、「プロジェクト FUKUSHIMA!」と共に、参加したすべての人たちが、それぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手で音楽の場を作り上げる音楽祭を開催します。	
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 2016 (連携事業)	東京国際フォーラム	5月2日(月)～5日(木・祝)	ラ・フォル・ジュルネは、クラシック音楽のすそ野を広げ、その楽しさを一人でも多くの人と分かち合うことを目的とした音楽祭です。世界最大級のこの音楽祭と連携し、子供たちを対象に体験を重視したワークショップや若手音楽家の育成を図るプログラムなどを実施します。	

事業（名称）	実施場所	開催時期（予定）	概要
プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～	武蔵村山市民会館、 町田市民ホール ほか	通年	多摩地域・島しょ地域の各所で、子供から大人まで幅広い方々がクラシック音楽を身近に親しむ機会を作るとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを文化五輪としても盛り上げる気運醸成のため、「首都東京の音楽大使」である東京都交響楽団が、観客参加・体験型のオーケストラ公演、アンサンブル公演を実施します。
六本木アートナイト 2016	六本木エリア	10月21日(金)～23日(日)	生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案するとともに、大都市東京におけるまちづくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、六本木の街を舞台にしたアートの饗宴です。今年度は秋に季節を移し、1日延長した3日間で開催します。
Shibuya StreetDance Week 2016	渋谷エリア	11月	日本のストリート文化の発祥の地である渋谷で、新しい芸術文化としてのストリートダンスの魅力や本質的な価値を様々な形で発信し、子供から大人まで幅広い層の方々が参加できるストリートダンスの祭典を開催します。
パフォーマンスキッズ・トーキョー	都内文化施設、 都内公立小中学校 ほか	通年	ダンスや演劇、音楽などのプロのアーティストを、学校やホール等に10日間程度派遣し、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品を作り上げ、最終日に発表公演を行います。アーティストが子供の発想を活かしつつ作品を創作する過程で、子供たちの創造性や自主性を育み、コミュニケーション能力を高めます。
Music Program TOKYO	東京文化会館 ほか	通年	世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Music Education Program》を開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。
MOT サテライト展(仮称)【新規事業】	清澄白河エリア ほか	平成29年2月11日(土・祝) ～3月20日(月・祝)	清澄白河エリアで、ギャラリーやカフェなどと協力し開催するアートプロジェクトです。美術だけでなく、音楽、パフォーマンス、シンポジウムなど多彩なプログラムを提供し、地域の賑わいを創出するとともに、東京の創造力を紹介します。
第9回恵比寿映像祭	東京都写真美術館、 恵比寿エリア ほか	平成29年2月10日(金)～ 26日(日)	恵比寿映像祭は、映像芸術文化を国内外に発信することを目的とした、アートと映像の祭典です。ジャンルを横断した芸術性の高い映像作品の展示や上映、ライブイベント、講演、トーク・セッションなど複合的な形式で実施します。東京都写真美術館リニューアル・オープン後初の開催となる第9回は、会期を昨年度より5日間拡大して開催します。
Museum Start あいうえの	東京都美術館、上野公園の 文化施設	通年	ミュージアム、大学、行政、市民が手を携えて、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業です。上野公園に集まる9つの文化教育施設が連携し、子供たちの「ミュージアム・デビュー」を応援するとともに、子供と大人が学びあえるアクティブ・ラーニングの環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」を、東京都美術館と東京藝術大学が推進役となって実施します。
芸劇セレクション	東京芸術劇場	通年	若手の演出家を起用した公演のほか、様々な舞台芸術作品を上演し、ワークショップ等を行います。今年度は、世界的に活躍する演出家ロベール・ルパージュ本人が出演する一人芝居「ロベール・ルパージュ『887』」や竹内統一郎の80年代の傑作を注目のクリエイター・小野寺修二が初演出する「Roots Vol.04『あの大鴉、さえも』」(仮称)などを上演します。
TACT/FESTIVAL	東京芸術劇場	5月5日(木・祝)～8日(日)	大人も子供も楽しめる海外の上質なファミリー向け作品を国内に紹介します。今年度は、メインの3作品、ソラス・デ・ヴェント「空飛ぶ男たち」と、カンパニー・レ・ギューム「スティック」、そしてカンパニー・ドゥッシュドゥッスウ「Lineaーダンシングロープ！」のほか、毎年好評のカナダの劇団コープスによる「ひつじ」など盛りだくさんな内容でフェスティバルを開催します。

●文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取り組みです。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクト。その担い手となるNPO育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力創造・発信を目指します。

事業名	実施場所	共催団体	概要
TERATOTERA	JR高円寺-国分寺エリア	一般社団法人 Ongoing	古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野・多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するプログラムを展開します。テラッコ(ボランティア)の人材育成に注力し、プログラムの企画・運営の実践を通じ、アーティストとともにアートプロジェクトをプロデュースできる人材を育てます。
小金井アートフル・アクション！	小金井市	特定非営利活動法人アートフル・アクション／小金井市	小金井市をフィールドに、市民がアートと出合うことで、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくることを目的としています。芸術文化によるまちづくりの検討や市民が事業に関わる場づくりを実施します。
としまアートステーション構想	豊島区	一般社団法人オノコロ／豊島区	アートを生み出す小さな拠点「アートステーション」をまちなかに出現させながら、多様な人々による、地域資源を活用した主体的なアート活動の展開を目指します。アート活動のための準備・交流、アーティストによるプログラムなどを実施するだけでなく、既存の施設や空間へアート活動を開いていくプログラムを実施します。

事業名	実施場所	共催団体	概要
アートアクセスあだち 音まち千住の縁	足立区	東京藝術大学音楽学部／特定非営利活動法人音まち計画／足立区	足立区千住地域を舞台に、アートを通じた新たなコミュニケーション(縁)のつながりを生み出すことを目指し、まちなかの担い手と連携しながら「音」をテーマとした多様なプログラムを展開します。
汐入タワープログラム	都立汐入公園	一般社団法人 CIAN／荒川区	平成 22 年度から平成 25 年度にかけて展開した「川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め」の一環として、都立汐入公園(荒川区)内に制作された「汐入タワー」において実施するプロジェクトです。地域の要望により設置を継続することとなったこの「汐入タワー」を中心に、アーティストが地域の人を交えたプログラムを実施します。
Art Bridge Institute	アーツ千代田 3331 ほか	特定非営利活動法人 Art Bridge Institute	アートプロジェクトや、アートと他分野との連携についてのリサーチを行い、メディアを制作します。メディアを通じた人や活動のネットワーク、ネットワークを活用した人材育成を行います。
トッピングイースト	東東京エリア	特定非営利活動法人トッピングイースト	スカイツリーや下町観光開発が日々進化し続ける東東京エリアにおいて、パブリックな場所での音楽の展開可能性・適正規模を追求するプログラムや、音楽プログラムへの多様な参加の手法を探り、実践するプログラムを展開します。
三原色[ミハライロ]	伊豆大島	特定非営利活動法人 kichi	大島を支えてきた世代、大島で生まれ育ちこれからを担う世代、興味を持ち大島へ訪れる多様な世代を繋げることを目的とし、その点と点を「デザイン」や「アート」を使ってつなぎ、活気溢れる地域づくりを目指します。
リライトプロジェクト	六本木 ほか	特定非営利活動法人インビジブル	六本木けやき坂のパブリックアート『Counter Void (カウンター・ヴォイド)』を再点灯させると同時に、未来の生き方や人間のあり方を考えるプラットフォーム形成を目指すプロジェクト。東日本大震災をきっかけに、作者であるアーティスト・宮島達男の手によって消されたこの作品を、3.11 の記憶をとどめ、社会に問いかけ続けるための装置と位置づけ、様々なプログラムを展開します。
東京迂回路研究	芝 ほか	特定非営利活動法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所	社会における人々の「多様性」(diversity)と「境界」(division)に関する諸問題に対し、フィールド調査とその報告から生まれる対話を通じて、“生き抜くための技法”としての「迂回路」(diversion)の研究を行います。障害、ケア、労働、住処、ジェンダーやセクシュアリティ、国籍——様々な背景、その境界線を揺れ動く人々とアートの関係性を探り、ひいてはアートそのものの境界をも探ります。
東京スープとブランケット紀行	江古田 ほか	一般社団法人指輪ホテル	演出家・劇作家の羊屋白玉を中心に、生活圏に起こるものごとの「終焉」と「起源」、そして、それらの間を追求するアートプログラムを展開します。テーマに呼応するコラボレーターとともに、トークシリーズや、アートプログラムの実施へ向けたエリアリサーチを行います。
公募プロジェクト【新規事業】	—	—	公募によって新たな NPO を選出し、多様なアートプロジェクトを展開していきます。

●東京の文化力による震災からの復興

東京都による芸術文化を活用した東日本大震災、被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアート NPO 等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。

事業名	実施場所	共催団体	概要
東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業	東北(岩手県、宮城県、福島県)	特定非営利活動法人いわて連携復興センター、つながる湾プロジェクト運営委員会、えずこ芸術のまち創造実行委員会、福島県、森のはこ舟アートプロジェクト実行委員会、特定非営利活動法人 Wunder ground	「東京緊急対策 2011」の一環として開始した、東京都と共催し、被災地域のコミュニティに対して、現地の団体と協働してアートプログラムを実施する事業です。現地のアート NPO 等の団体やコーディネーターと連携し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。被災地域のコミュニティを再建するため、様々な分野の人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを行います。

●リオデジャネイロにおける文化事業の実施と国内への展開

世界中の注目が集まるリオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会時に現地において文化事業を実施し、その後の国内における文化プログラム展開に繋げていきます。

事業名	実施場所	開催時期(予定)	概要
東京キャラバン	リオデジャネイロ、国内	8月頃(リオデジャネイロ) 9月以降(国内)	劇作家・演出家・役者である野田秀樹氏の発案により、東京をはじめ日本の多種多様な芸術が集う文化発信の新しいムーブメントです。2016年夏、オリンピック開催中のリオデジャネイロを出発点として、東京キャラバン隊が国内各地に出現し、「文化大サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を、継続的に図っていきます。

TURN		8月～9月頃(リオデジャネイロ)、通年(国内)	監修に日比野克彦氏を迎え、多様な人との出会い方、つながり方に創造性を携え働きかけていくアートプロジェクトです。年1回の「TURN フェス」の開催や、「TURN センター」(平成28年度開始予定)を通じ、一人ひとり異なる全ての人に向けて、新たな文化的体験をつくり出すことを目指します。
------	--	-------------------------	---

事業名	実施場所	開催時期(予定)	概要
伝統芸能公演	リオデジャネイロ、国内	8月頃(リオデジャネイロ) 9月以降(国内)	リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック開催期間に、オリンピック・ライブ・サイトにて実施。東京と東北の伝統芸能公演を中心として、日本及び現地ブラジルの若者が一堂に集い、東京そして東北の復興をTOKYO2020に向けたメッセージとともに、世界に発信していきます。

「人材育成事業」

世界をリードし、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

事業名	実施規模	概要
アーツアカデミー	研修会、成果発表会など随時実施	東京の芸術文化事業を担う人材の育成プログラム。主に助成事業を中心とした調査や研修業務を通じて芸術文化の評価について考察するコース、劇場運営の現場を担う人材育成を目的とするコース、平成28年度からは伝統芸能とクリエイティブ分野を扱うコースを新設し、実施します。
Tokyo Art Research Lab (TARL)	①思考と技術と対話の学校 ②研究・開発	アートプロジェクトを実践する人々にひらかれ、共につくりあげる学びのプログラムです。新しい芸術文化の担い手を育て、彼らが必要とする手法やスキルを開発していくことを目的としています。アートプロジェクトを動かす人材を育成していく「思考と技術と対話の学校」と、環境整備と方法論の確立を担う「研究・開発」の二軸で事業を展開。学校では、アートマネージャーに必要な基礎力を養う「基礎プログラム 思考編・技術編」に加え、新たに「対話編」を開校します。

「国際ネットワーク事業」

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていきます。

事業名	実施規模	概要
アーツカウンシル・フォーラム	通年	芸術文化分野において今日的かつ重要なテーマを取り上げるフォーラムの開催。国内外のアーツカウンシル、芸術文化交流機関、アーティストやクリエイター間のディスカッションやクリエイティブなアドボカシー創出などの促進を目指します。国際都市に相応しい芸術文化活動の発信や議論の場となることを目指します。

「企画戦略事業」

東京の芸術文化環境を向上させる様々なテーマに基づいた調査研究を新たなプロジェクトを立ち上げて実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力及びアーツカウンシル東京の取り組みを国内外に発信していきます。

事業名	実施規模	概要
企画戦略事業	①調査研究 ②情報データベースの拡充	東京の芸術文化環境を向上させるための、芸術文化支援事業を中心に今日の芸術文化が抱える様々なテーマに基づいた調査や研究を実施します。また、東京における芸術文化の専門機関として国内外の関連団体とのネットワーク構築や人材・情報交流を行います。
広報事業	①ウェブサイト、メールニュース、SNS ②広報紙「TOKYO PAPER for Culture」、ウェブマガジン ③ラジオ番組提供(J-WAVE) ほか	東京における芸術文化の魅力や価値を顕在化し、理解や共感を広めるため、多様なメディア等を通じ、国内外へ向けて広く情報発信していきます。また、新たな情報発信手法の研究に取り組みます。